

清水春道 しみずはるみち 甚河公藩醫。文化八年武藏國生まれ、明治八年四月十六日歿（一八〇九—七五）。諱祐長、通稱と京、りち春道。號南耕。弱冠尾張の遊學として醫術を研鑽。嘗て伊東と称の誤診を匡したるに因る。松平忠國、忠實藩士に二代の信譽を得、醫寮の女官たりて藩政の諮詢にこと與はら。致仕後城南長野村に卜て自適。